

先生の推し本 第17回

図書館HPの
企画展示ページへはこちら



小玉 亮子先生

お茶の水女子大学家政学部児童学科を卒業後、東京大学大学院教育学研究科修士課程教育学専攻修了、同博士課程単位取得満期退学。日本学術振興会特別研究員(PD)、横浜市立大学大学院国際総合科学研究科准教授を経て、2008年お茶の水女子大学に着任。現在、基幹研究院人間科学系教授。担当は、文教育学部人間社会科学科子ども学コース、大学院人間文化創生科学研究科人間発達科学専攻保育児童学領域/コース。

研究テーマは、子ども、教育、家族、ジェンダー、幼児教育。

面白いは無限大

実は、「面白いは無限大」という言葉は私が考えたものではありません。お茶の水女子大学附属中学校の生徒さんたちが考えてくれた小玉亮子のキャッチコピーです。2024年度の附属中学校の2年生の授業で、本学の大学教員たちにインタビューをしてその教員のポスターを作る、という授業があり、私もその対象の一人になりました。生徒さんたちは、私の研究についてあらかじめ調べて、訪ねてきて、いろいろ質問してくれました。その時に、私は、ポスターに写真を載せても良いが、できるだけ小さくすること、あとはご自由にしてくださいと言いました。

そうしましたら、出来上がったポスターに「面白いは無限大」という言葉が書かれていたのです。私は無限大という言葉を使わないので、将来のある中学生さん言葉だなあとつくづく思ったのですが、でも、私が思っていることを言葉にしてくれたと思って嬉しくなりました（ありがとうございました）。

今回、この図書館の企画の話をしていただいた時に、私は「世界はおもしろいコト・モノ・ヒトであふれている」とどこかで聞いたことのあるようなキャッチコピーを考えたのですが、いや、やはり、中学生さんたちがくれた言葉の方が素敵だと思ったので、こちらを使わせてもらいました。

2025年12月15日～2026年2月末